

平成 24 年 2 月 22 日

関係国公立大学長
関係研究機関の長 殿
海外関係研究機関の長

千葉大学大学院園芸学研究科長 木庭 卓人

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は本研究科の教育研究のためにご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、本研究科では、下記のとおり教員を公募することにいたしましたので、ご高配のほどお願い申し上げます。

敬具

記

1. 公募の対象分野等

1) 職種、公募人員 環境園芸学専攻生物資源科学コース
教授または准教授 1名

2) 教育研究領域 応用生命化学領域

3) 主要な担当予定授業科目

大学院園芸学研究科

博士後期課程： 生命分子機能学（分担）、特別研究Ⅱ、特別演習Ⅱ

博士前期課程： 分子生体機能学特論（分担）、特別研究Ⅰ、特別演習Ⅰ

園 芸 学 部： バイオインフォマティクス、分子生体機能学、分子生体機能学実験、
応用生命化学セミナー（分担）、情報処理（分担）、専攻研究など

2. 応募条件等

(1) 博士の学位を有すること

(2) 着任予定日 平成 24 年 9 月 1 日

(3) 当該領域の教育研究領域及び公募により求める担当分野

当該領域では、動物、植物、微生物を用いた生命資源の有効活用にあたり、これら生物の機能、細胞構成物質、代謝生産物等について、生物化学的、分子生物学的手法により解析し、関連する遺伝子、細胞内外の酵素等機能性タンパク質、機能性糖質、機能性脂質等の基礎学理と応用技術理論の究明を図るとともに、食料問題、資源問題、環境問題など現在人類が直面している諸問題を解決できる人材を育成しています。本公募では、生命機能の理解や生物資源の利用を目指した研究のうち、特にオミックス技術をベースとしたシステム生物学・バイオインフォマティクスに関する研究業績を有する方で、生物情報学的な視点・アプローチにより新たな生命現象の解明や代謝機能の提案、或いは食品も含めた新規機能性分子のデザイン・創出に向けた研究を行うとともに、学部・大学院においてバイオインフォマティクスに関する教育（講義・実習）を担当できる方を求めています。さらに園芸学部応用生命化学科に関連する専門科目および共通基礎科目の教育も積極的に担当し、学科の運営にも参加して頂ける方を求めています。また、国際化対応で英語による講義を担当して頂くことがあります。

なお、応用生命化学領域の構成は次のとおりです。

教授 4 名 准教授 3 名 助教 3 名

また、応用生命化学領域と連携する融合科学研究科ナノサイエンス専攻ナノバイオロジーコース生命機能化学領域には、教授 2 名、助教 1 名が在籍しています。

3. 提出書類

下記の書類（1～7）を、A4版用紙に印刷した書類一式（1部）、並びに PDF ファイルで保存された CD 媒体（1枚）の両方をご提出下さい。

- (1) 履歴書 1通
- (2) 研究業績目録 1通
- (3) 論文の別刷り等 学術論文（コピー可）・著書の代表的なもの 10編以内
- (4) 教育業績調書 1通
- (5) 現在までの教育研究の概要と今後の教育研究上の抱負（2,000字程度） 1通
- (6) 特記事項など（科研費採択実績、その他外部資金取得実績等を記載して下さい。）
- (7) 応募者の人物像をよく知る方2名のお名前と連絡先を記載して下さい。

4. 応募期限 平成24年4月20日（金） 必着

5. 応募書類の送付先及び問い合わせ先

千葉大学大学院園芸学研究科生物資源科学コース長 西野 栄正
（〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 番地 電話：047-308-8835 ）

E-mail : enishino@faculty.chiba-u.jp

（注：書留による郵送が望ましいが、宅配便でも可。封筒の表に「応用生命化学領域応募書類在中」と朱書きして下さい。）

園芸学研究科および当該領域については、ホームページ(<http://www.h.chiba-u.jp/>)を参照して下さい。

6. 応募書類の作成要領

- (1) 履歴書 学歴は高校卒業から記入し、外国における留学及び研究は、原則として6ヶ月以上滞在の場合を記入して下さい。
- (2) 研究業績目録
 - 1) 原著論文
 - a) 学会誌や学術誌でレフェリー制度のあるもの
 - b) その他の論文・・・大学の学術報告、研究会誌、試験場報告シンポジウム等の掲載論文
 - 2) 著書及び訳書・・・単著と共著を区別し、共著は分担部分を明記して下さい。
 - 3) 報告書、資料、書評など
 - 4) 総説など
 - 5) 普及・実用記事など
 - 6) 学会・研究会・講演会・シンポジウム・セミナーなどでの発表・・・最近5年間の発表で、講演要旨集などに収載された主要なもの 10編以内（ただし、講演・発表の総数をこの欄の最後に、ほか□□編と記入して下さい。）
 - 7) 計画・設計
 - 8) 特許など
 - 9) 資格技術
- (3) 教育業績調書：これまで担当したことのある授業科目、実験指導など（学部、大学院、その他）があれば、その一覧（ポスドク時の実験指導を含む）
- (4) 特記事項など（様式は問いませんが、別紙のA4用紙に項目別に整理して記入して下さい。）
- (5) 履歴書・研究業績目録・教育業績調書については、所定の様式を千葉大学大学院園芸学研究科ホームページの本公募要領掲載ページ（<http://www.h.chiba-u.jp/to-company06.html>）からダウンロードして仕上げて下さい。

7. その他

- (1) 来学して面接およびセミナーをしていただく可能性があります。
- (2) 研究業績について、追加の資料提出を求める場合もあります。

以上